

令和3年度 部局経営方針

部局名	総務部	部局長名	日高 章司		
部局の経営資源	職員数	(人)	現計予算額	(千円)	令和3年度中に策定した計画 (根拠法令等)
	正職員	39	一般会計	1,141,720	日向市総合体育館整備基本計画
			特別会計	0	
	再任用職員	4	前年度繰越額(千円)		
	会計年度任用職員	1	一般会計	9,947	
	任期付職員		特別会計		
<p>【基本姿勢】</p> <p>1 人口減少やコロナ禍の影響により市税の減収が見込まれるなど、財政状況が更に厳しくなることが予想される中、「第2次日向市総合計画・後期基本計画」を着実に推進するため、「第2次日向市行財政改革大綱」に基づき、行政サービスの向上や行政経営の効率化を図るとともに、職員の人材育成を推進し、健全な行財政運営に取り組みます。</p> <p>2 自然災害から市民の生命と財産を守るために、自助・共助・公助による災害対応力の強化に取り組みます。</p> <p>3 市民の健康増進やスポーツ活動の拠点となる総合体育館の整備を推進します。</p> <p>【総合計画・基本理念】</p> <p>○コロナ禍により、歳入の根幹となる市税の大幅な減収に加え、社会保障関連経費の増高など、今後さらに厳しい財政状況が想定される中で「第2次日向市総合計画・後期基本計画」を着実に推進するため「第2次日向市行財政改革大綱」に基づき、健全な財政運営と持続可能な財政基盤づくりに取り組みます。</p> <p>○市民の防災意識が高まり、持続可能で強靱な国土と質の高いインフラによる安全で安心な環境づくりを目指します。</p> <p>【総合計画・基本目標に向けた取り組み】</p> <p>1-7 スポーツ活動の推進と環境づくり</p> <p>③ スポーツ施設の整備と活用</p> <p>○ 総合体育館の整備に向け、「日向市総合体育館整備基本構想」に基づき、詳細な機能や事業手法等について検討を進め、基本計画の策定に取り組みます。</p> <p>1-8 人権・平和の尊重</p> <p>③ 平和教育の推進と啓発活動</p> <p>○ 戦争体験者の高齢化が進み「戦争の記憶」が薄れる中、戦争を風化させない取組を進めるなど、平和を尊ぶ心を醸成する活動を推進します。</p> <p>4-2 防災体制の充実</p> <p>① 災害予防対策の推進</p> <p>○ 市民の防災意識の向上を図るため、防災訓練や防災講座などの啓発活動を推進します。</p> <p>○ 自主防災会等の地域で活躍する防災士の養成に努めるとともに、地区防災計画策定の取組を支援します。</p> <p>○ 災害時の情報発信の多重化に向けて、「防災情報配信サービス」の登録者増を図ります。</p> <p>② 災害に強いまちづくり</p> <p>○ 計画的な備蓄品の整備と分散備蓄体制を推進します。</p>					
総合計画に基づく部局の経営戦略					

5-6 情報通信基盤の整備と情報化の推進

② 情報通信技術(ICT)利活用の推進

○ 電子入札システムを導入し、入札時における3密の回避や外部との接触機会の低減に努め、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じるとともに、入札参加者の利便性の向上及び行政のデジタル化を推進します。

6-3 市民に信頼される行政サービスの提供

② 職員の育成

- 接遇研修や専門分野に関する研修など、職員の資質の向上に努めます。
- 女性の視点を活かした政策形成や働きやすい職場環境づくりを推進します。
- 「日向市人財育成基本方針」に基づいた職員の育成を図るため、人事評価及び各種研修に努めます。
- 効果的な人事評価制度の運用に努めます。

④ 情報公開と個人情報の保護

- 職員研修等を実施し、情報公開制度や個人情報保護制度の適切な運用を図ります。
- 市民の権利・利益の保護を図り、公正で信頼される市政の推進に努めます。

6-4 効果的・効率的な行政経営の推進

② 行政運営の効率化の推進

- 市民ニーズに対応し、より良い市民サービスを提供するために効率的な組織の在り方について検討します。
- 市民サービスの向上につながる業務や費用対効果が高い業務等について、民間活力の効果的な活用に努めます。
- 職員数や給与の適正化に努めます。

③ 公共施設の最適化と適切な管理

- 「日向市公共施設等総合管理計画」に基づき、安全・安心の確保、総量の最適化、ライフサイクルコストの縮減を実現するため、公共施設マネジメントを推進します。
- 建物系施設の老朽化対策として、計画的な修繕・維持補修工事を総括的に行います。
- 庁舎の適切な維持管理を行うとともに、市民に開かれた庁舎として、情報発信や利活用の促進を図ります。
- 市有財産の売却・貸付等により、自主財源の確保に努めます。

6-5 未来につなげる財政運営

① 適正な財政運営

○ 経済の状況や国県の動向の把握に努めながら、決算等の分析やPDCAサイクルに基づく選択と集中により、健全な財政運営の実現を目指すとともに、市債の計画的な発行や基金の適正な運用により、持続可能な財政基盤づくりに取り組みます。

② 自主財源の確保

- 使用料・手数料の適正化についての調査研究をはじめ、新たな広告媒体の掘り起こし等に積極的に取り組むことで、自主財源の確保に努めます。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【総務部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
1	2 活をみ出すにぎわづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	9 新たな交流拠点の整備研究	-	1 新たな交流拠点、知の拠点としての役割を果たす複合的な機能を備えた図書館の整備について調査研究を行います。	資産経営課	-	-	複合的な機能を備えた図書館の整備について、土地の有効活用や官民連携による整備手法等、先進事例の調査研究に取り組みます。	先進事例として調査研究を行った自治体の数	2	団体	2	A	先進事例として、都城市立図書館と新富町立図書館について、施設の整備概要やコンセプト等について調査研究を行いました。	他の公共事業との調整を図りながら、施設のコンセプトや規模、複合的な機能などを検討していく必要があります。	引き続き情報収集に努め、複合施設の整備に向けた調査研究を行うとともに、関係課による協議を継続していく必要があります。
2	3 笑顔で暮らせる地域づくり	2 笑顔で暮らせるスポーツ・健康推進プロジェクト	4 スポーツを生かした生きがいづくりや健康づくりの推進	-	6 市民の健康づくり、スポーツ、災害時の拠点施設となる総合体育館の整備に取り組みます。	資産経営課	日向市総合体育館整備事業	106	市民サービスの向上やコスト削減を念頭に、詳細な機能や最適な事業手法等について検討を進め、「基本計画」の策定に取り組みます。	日向市総合体育館整備市民検討委員会の開催回数	3	回	3	A	施設の詳細な機能や最適な事業手法等について検討を行うとともに市民アンケート調査結果等を踏まえ「基本計画」の取りまとめを行いました。	コロナ禍により、2月に予定していた市民説明会が延期となったため、令和3年度中の「基本計画」策定に至りませんでした。そのため、今後、開催手法について検討していく必要があります。	市民への丁寧な説明や事業進捗における情報発信についても、市広報やHPを活用し適宜、行っていきます。また、市民生活や地域経済の状況を見極めつつ、整備におけるコスト削減策や事業手法等について引き続き慎重に検討していく必要があります。
3	4 自然が豊かなまちづくり	1 助け合う災害に強いまちづくりプロジェクト	1 自主防災力の向上	地区防災計画の取組地区の総数 【R1】5地区 ↓ 【R6】10地区	1 「避難所運営マニュアル」を基に、自主防災会と地域の防災士が一体となった避難所運営を推進します。	防災推進課	-	-	避難所運営マニュアル等に基づく避難所運営訓練を通して、避難所の適切な運営に取り組みます。	地区防災計画策定に向けた取組地区総数	7	地区	7	A	避難所担当職員への説明会や訓練の実施、施設管理者との避難者受入れの施設利用などの協議を行いました。コロナ禍により、自主防災会や防災士と連携した避難所運営訓練には至らなかったところです。	大規模災害時には、自主防災組織や施設管理者等の協力を得て避難者とともに避難所を運営することとなるが、コロナ禍のなか、屋内に人数を集めて訓練を実施することが難しい状況です。また、女性の積極的な参加が必要です。	自主防災組織や施設管理者など、多様な主体を対象とした避難所運営訓練を通し、避難所担当職員を含め、連携した避難所運営を行うことが必要です。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【総務部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の取組内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性		
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況					
4	4 自然が快適なまちづくり	1 助け合う災害に強いまちづくりプロジェクト	1 自防力の向上	地区防災計画の取組地区の総数 【R1】5地区 ↓ 【R6】10地区	2 自主防災会が主催する避難訓練や防災講座を支援するとともに、地区防災計画策定の取組を推進します。	防災推進課	-	-	自主防災会連絡協議会をとおし、福祉部局とも連携した計画策定に向けた支援等に取り組めます。	地区防災計画策定に向けた取組地区総数	7	地区	7	A	地区防災計画に取り組む地区との連携を図りました。	コロナ禍以前と比較すると、防災講座等の開催が減少した状況が続いています。また、地区防災計画に着手している地区についても、コロナ禍の影響により会議等を開催できない状況があります。	感染対策を実施したうえで、防災講座等の実施と併せ、地域の様々な活動の場を捉えて啓発を行います。		
5				地域防災訓練などへの参加者数(年間) 【R1】19,780人 ↓ 【R6】25,000人	3 地域の実情に応じた防災訓練の支援や参加しやすい環境づくりに取り組めます。	防災推進課	-	-	住民主体の避難行動体制の構築に取り組めます。									地域防災訓練などへの参加者数(年間)	22,000
6						市防災情報配信サービス登録者(年度末時点) 【R1】1,700人 ↓ 【R6】2,200人	4 防災情報伝達の多重化のため、防災訓練や防災講座を通じて防災情報配信サービスへの登録を推進します。	防災推進課	防災情報収集・伝達事業	104	地域等で実施される防災訓練や防災講座において、防災情報配信サービスの普及を図り、登録者の増加に努めます。	市防災情報配信サービス登録者(年度末時点)	1,900	人	1,973	A	地域での防災訓練や防災講話等において周知を図ることにより着実に登録者数が増えています。災害のおそれのある場合には、配信サービスの運用により適切な情報発信を行い、早期避難の啓発に努めました。	コロナ禍による防災訓練等の実施が難しいなか、どのように市民に対し周知していくか、その方法を検討する必要があります。	地域での防災訓練や防災講話に加え、防災に関するイベント等に合わせ積極的に登録を促します。
7						5 避難所内での感染症拡大防止のため、分散避難などの周知に取り組めます。	防災推進課	-	-	避難所運営マニュアルに基づき、災害時における感染症対策及び分散避難についての意識啓発に努めます。	大字区長会や市広報紙において、災害時における分散避難について周知啓発を行いました。なお、令和3年度においては、避難所での避難者受入れ実績はありませんでした。						新型コロナウイルスの感染をおそれ、避難行動が消極的にならないよう、避難所等における感染防止対策のほか、避難者による感染予防及び分散避難について、引き続き周知していく必要があります。	避難所運営訓練を通し、感染症対策の徹底を図るとともに、早期避難による分散避難への意識啓発に努めます。	

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【総務部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	令和3年度の実績内容(目標)	令和3年度 成果指標					令和3年度の事業成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方向性
										指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況			
8	4 自然豊かで快適な強いまちづくり	1 助け合う災害に強いまちづくりプロジェクト	3 国土強化の推進	-	1 防災関連施設の充実に取り組みます。	防災推進課	地震・津波防災施設整備事業	105	財光寺地区に、備蓄倉庫の整備を行います。	財光寺地区への備蓄倉庫の整備	1	棟	1	A	財光寺中学校に備蓄倉庫を整備し、分散備蓄を図りました。	分散備蓄を図るため、引き続き、拠点となる備蓄倉庫の整備を進める必要があります。	富高地区に、備蓄倉庫の整備を行います。
9				-	8 公共建築物の耐震化や老朽化した施設の改修・更新に取り組みます。	資産経営課	公共施設老朽化対策事業	106	建物系施設の老朽化対策として、計画的な修繕・維持補修工事を総括的に行います。	修繕・維持補修工事等の老朽化対策に取り組んだ公共施設数	10	施設	16	A	総括的な修繕・維持補修工事について、優先順位を付した上で16施設の工事を実施しました。	事後保全的な工事が多く、必ずしも計画的なマネジメントにながっているとは言えない状況です。	計画的な修繕、維持補修に取り組んでいくためにも、予防保全としての工事も進めていく必要があります。

様式1-3 その他に取組む重点事業

【総務部】

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	成果説明書頁数	現状と課題	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果	今後の方向性
1	6 地域経営	3 市民に信頼される行政サービスの提供	② 職員の育成	職員課	人事評価制度推進事業	102	公平公正で納得度の高い制度構築のため、今後も改善を図り、評価結果の処遇への反映を図っていく必要があります。	評価結果を検証し、見直し・改善を行います。 職員の納得度が高い評価を行えるよう、評価に関する研修の充実を図ります。 評価結果に基づき、管理職への処遇へ反映させます。	計画どおり	管理職の勤勉手当に評価結果を反映しました。 人事評価研修を期首、期末に計12回開催しました。 評価結果の適正な活用を目指して庁内検討委員会を2回開催しました。	拡充

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【総務部】

番号	基本方針	取組項目	所管課	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果
1	市民に信頼される行政サービスの提供	広報・広聴活動の充実	全課	法令等に基づき、適正な情報発信に努めます。	計画どおり	【市ホームページでの公表】 ・個人情報保護制度の運用状況、・情報公開制度の運用状況(5月) ・財政事情の公表(5月、11月) ・特定事業主行動計画取り組み状況 ・避難情報の変更周知 ・防災、避難情報の配信 ・次年度公共工事発注見通し(3月) ・その他各種計画等
2			全課	各部署において、市民ニーズに的確に対応した情報発信に努めます。	計画どおり	体育館整備に関する各結果報告について情報発信に努めました。市民説明会については、コロナ禍の影響により開催を延期しました。 市広報紙やホームページを活用し、予算の概要や公共工事の発注見通し等に関する情報発信に取り組みました。
3		職員の育成	職員課	職員の能力向上を目指し、各種研修に職員を派遣します。	計画どおり	研修派遣延べ人数 :780名 満足度:90.51%
4			防災推進課	地域防災計画や業務継続計画(BCP)に基づき、情報伝達訓練や防災研修に取り組みます。	計画どおり	・情報伝達訓練 3回 ・避難所運営訓練 ・総合防災訓練 ・防災講演会の開催
5			全課	情報伝達訓練等に積極的に参加することで、有事に対する体制の強化を図ります。	計画どおり	定期的に行われた情報伝達訓練に参加しました。
6			職員課	「女性職員の活躍の推進に関する特定事業主計画」に基づき、係長以上における女性職員の割合の増加を図ります。	計画どおり	「キャリアデザインセミナー」へ女性職員を1名派遣 女性職員の研修受講割合:34.1% 係長以上における女性職員の割合 令和3年度実績 29.73%

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【総務部】

番号	基本方針	取組項目	所管課	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果
7	市民に信頼される行政サービスの提供	広報・広聴活動の充実	職員課	納得度の高い人事評価制度とするため、制度の見直しを行います。	計画どおり	人事評価研修 :12回開催 人事評価検討委員会 :2回開催
8		市民に開かれた市役所づくり	職員課	窓口サービス向上委員会を開催し、窓口利用者の利便性の向上に取り組みます。	計画どおり	窓口サービス向上委員会を2回開催し、総合案内の充実やおくやみ窓口について検討しました。
9	市民に信頼される行政サービスの提供	情報公開と個人情報の保護	総務課	職員研修及び広報紙等において運用状況を公開します。	計画どおり	新規採用職員に対する研修会の実施及び情報公開件数等の市民への公表の実施
10			全課	制度に基づき、適切な運用に努めます。	計画どおり	電子メールの送信に際し、宛先確認を徹底しました。
11	効果的・効率的な行政経営の推進	計画的な行政経営の推進	財政課	事務事業の必要性や効果、コストを総合的に判断し、統廃合を含めた事務事業の見直しに取り組みます。	遅れ	部局経営方針の進捗管理や次年度予算の新規・拡充事業の検討を通して、事務事業の見直しに関する検討を進めました。行政経営推進会議では、事務事業の2次評価を含めた行政評価の手法の見直しに取り組みました。
12			全課	統廃合を含めた事務事業の見直しや業務の改善に取り組みます。	計画どおり	日々の業務の中で改善事項の抽出に取り組みました。
13		行政運営の効率化の推進	職員課	業務ヒアリング等により、各部署の課題や業務量の把握を行います。	計画どおり	6月から業務ヒアリングを実施し、効率的な組織の検討を行い、改編を行いました。
14			総務課	内部統制の先進事例の情報収集等を行います。	計画どおり	研修の受講や先進自治体の情報収集を行いました。次年度以降の体制づくりや取組方針(案)の作成を行いました。

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【総務部】

番号	基本方針	取組項目	所管課	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果
15	効果的・効率的な行政経営の推進	行政運営の効率化の推進	職員課	業務ヒアリング等を通して対象業務の調査を行います。	その他	市民課窓口業務の民間委託について、先進自治体の視察等を行いました。
16	効果的・効率的な行政経営の推進		職員課	職員のワークライフバランスを推進し、公務能率の向上に資する制度を導入します。	計画どおり	<ul style="list-style-type: none"> ・時差勤務制度の運用を開始しました ・時間外勤務の実施状況等の報告を行うとともに、上限を超える時間外勤務の該当課には要因分析と改善案の作成を求めました。 ・庁内放送等で、ノー残業デーの推進に努めました。
17			全課	時間外勤務の削減、振休・年休の取得の推進に取り組みます。(職員課)	計画どおり	ノー残業デーと振休の計画的な取得の推進に取り組みました。
18			職員課	国・県からの指導に基づき、給与制度の適正化に取り組みます。	計画どおり	独自給料表の継足しを廃止するなど、給与制度の適正化に努めました。
19	効果的・効率的な行政経営の推進	公共施設の最適化と適正な管理	資産経営課	老朽化の著しい施設等の統廃合について検討を行うとともに、点検・診断を実施しながら、適切な維持管理と計画的な改修・更新に取り組みます。	遅れ	細島地区コミュニティセンターについては、地元への譲渡を調整中であり、旧岩脇中学校については方針を決定しました。施設のあり方については、継続して検討を進めています。
20	未来につなげる財政運営	適正な財政運営	財政課	「第三セクター経営検討委員会」による経営状況等の点検・評価及び指導を行うとともに、経営健全化方針に基づき、行政として適切に関与しながら、公的支援の適正化と財政的リスクの低減に努めます。	計画どおり	第三セクター経営検討委員会の開催を通して、点検・評価報告書を取りまとめました。

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【総務部】

番号	基本方針	取組項目	所管課	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果
21	未来につながる 財政運営	適正な財政 運営	財政課	使用料等の適正化や行政評価との連携など財務書類から得られるデータの活用、財政指標(目標値)の設定などの検討を引き続き進めます。	計画どおり	令和2年度決算に基づく財務書類の作成・公表とともに、財務書類の活用に関する検討を進めました。
22			財政課	歳入の確保と歳出構造の見直しについての検討を加えながら、中長期的な視点に立った財政運営による財政指標の改善に努めます。	計画どおり	予算編成における経常経費の抑制とともに、新規の市債発行の抑制に取り組みました。
23			財政課	中長期的な視点による計画的な市債の発行や交付税算入率が有利な市債の発行により、市債残高の圧縮を図ります。	計画どおり	市債の元金償還以下の発行により、市債残高の圧縮を図りました。
24			財政課	財政調整積立基金の残高に留意しつつ、中長期的かつ計画的な活用を図るとともに、特定目的基金の適正な運用に努めます。	計画どおり	令和2年度決算剰余金の財政調整積立基金への積み立てとともに、令和4年度予算編成での繰入の抑制を図りました。
25			財政課	「日向市補助金交付ガイドライン」により補助金制度を効果的・効率的かつ適正に運用するとともに、必要性や妥当性などが低いと認められる補助事業について縮小・廃止を含めた見直しを行います。	計画どおり	次年度予算編成の中で、執行状況等を踏まえた見直しに取り組みました。
26			全課	「日向市補助金ガイドライン」に則り、適正な運用に努めます。	計画どおり	予算の執行管理の中で、適正な運用に努めました。
27		自主財源の 確保	財政課	職員一人ひとりの意識の向上を図りながら、受益と負担の適正化や公平性の確保に取り組みます。	遅れ	見直しに向けた具体的な取組には至りませんでした。

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【総務部】

番号	基本方針	取組項目	所管課	令和3年度取組内容(目標)	進捗状況	令和3年度取組結果
28	未来につなげる 財政運営	自主財源の 確保	資産経営課	普通財産として管理する土地・建物の利活用や処分に取り組めます。	その他	普通財産(土地)の処分3件
29			財政課	ふらっとバスや市ホームページバナー広告料等の拡充を図るとともに、新たな広告媒体の活用を推進します。	計画どおり	日向市駅前交流広場のネーミングライツの導入に取り組めました。